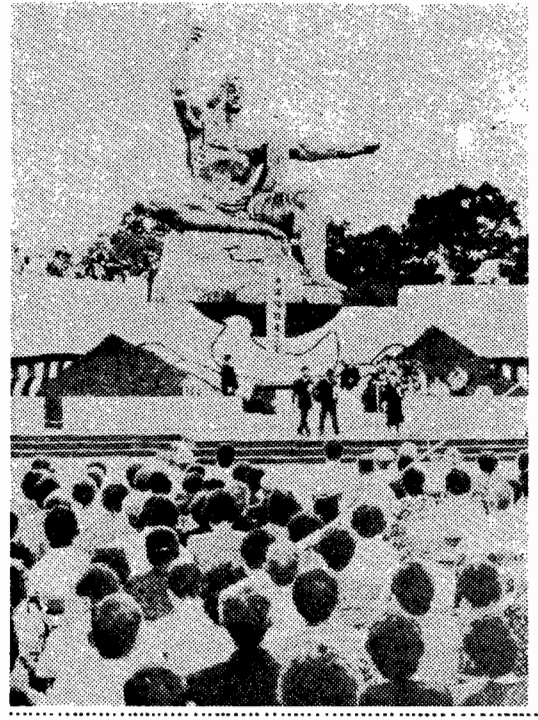


国鉄「分割・民営化」阻止！三里塚二期着工粉碎！  
89 大会に参加して  
長崎禁水原（津沼部・K生）



爆心地の平和公園で開かれた長崎平和祈念式典（八月九日）

八月八日晴れ、被爆40年目の暑い長崎の地に立つ。

40年前の八月九日、午前十一時二分、長崎は米軍機から投下されたたった一個の原爆により、数万人の人々の生命が奪われ、今なおその犠牲者は苦しみを背負いながら「被爆者」として戦後40年を生きている。

九日、十時三〇分より世界大会が始まる。各国の人達が反戦、反核を必死になって会場の人々や日本中に向けて訴えている。

しかし、今の原水禁、原水協の状況はなんとしたことか。特に、原水協の自分の利害だけを追求し、意にそぐわない人達は排除するというやり方に対して、各国の人達はあきれかえっていたという。また、八日の平和行進では原水禁の人達は行進に参加しなかったのです。

これでは長崎に九千人の人達が集ってもまったく無意味になってしまうのではないだろうか。

来年からの統一大会は危ないような気がしてならないのは私だけだろうか。  
これとは別に、八日の夕方、九州の地で三里塚を闘う人たちが主催する「8・9長崎反戦大集会」に参加した。  
学生、労働者で会場は埋まり熱気であふれている。この集会に先だって行われた街頭での署名活動で、機動隊のいやがらせに抗議した学生達七人が逮捕されるという、まったく許せない事態が発生した。  
まさしく破防法弾圧そのものである。

集会では、この権力の弾圧に対して三里塚から実力で反撃することが鮮明にうち出され、特に七月二日の菱田現地での放水車「占拠」のような実力闘争こそ、日帝・中曽根を打倒し戦争への道を阻止することができるんだということが、学生や労働者から提起された。私もその通りだと思ふ。中曽根は戦争への道を、いまもひたひたと歩きつづけている。防衛費の対GNP比一〇％の撤廃、靖国神社への公式参拝、SDIへの協力など、これはどう見ても戦争へ突き進むとしかうけとれない状況だ。

国鉄でも、七月二六日の再建監理委の答申以来急速に組合に対しての攻撃が強まっている。

これは、まさしく組合を叩きつぶすために行われるものだ。  
動労千葉の掲げる三里塚と国鉄を軸に中曽根と対決する路線のもと、戦争への道をストップさせなければ、労働者は再び戦争へかり出されるのだ。反戦、反核の若し三里塚に勝利し、日帝・中曽根打倒にむけ今秋三里塚に総結集しよう。（寄稿）

新賃金配分交渉  
あこな われる (89)

八五年度新賃金配分交渉は、七月三十一日に引き続いて八月一九日行ない、次のとおり文書による回答がありました。

賃金改訂について（一九八五・八・一九）

1. 仲裁裁定による原資五、五六四円については、基本給表改訂に重点をおく。
2. 高校卒採用給
3. 民間、他公企体等との均衡を考慮して検討する。
4. 基本給表
5. 基本給表作成にあたっては、中堅層職員に配慮する。
6. 年齢別保障基本給
7. 昨年に準じた措置を検討する。
8. 扶養手当
9. 国家公務員、民間の支給水準を勘案し、増額について検討する。
10. 都市手当
11. 改訂について検討する。
12. 準職員
13. 職員に準じて改訂する。
14. 臨時雇用員
15. 最低賃金に関する覚書第2項に基づき検討する。